

園長日記 第36回 保護者向け講演会

令和5年2月25日、みどり幼稚園にて保護者向け講演会を開催しました。

宮崎国際大学学長の村上 昇博士をお招きして、「脳科学から見たこどもの教育法」と題しての講演をいただきました。保護者の方や職員等30名程が参加され、村上先生に脳の仕組みや教育の方法、脳の鍛え方について丁寧に教えていただきました。

脳の前頭連合野が推理、判断、意思、我慢などに関わっており、非認知能力を高めることが重要であること、前頭連合野を日常的に鍛えるには、次の5つが有効であるとの話がありました。1.もしかしたらと考える。2. どうしてなぜ?と問いをつくる。3. まあいいかと置き去りにしない。4. 新しい趣味を作る。5. 新しいことにチャレンジする。

能動的学習の始まりは、好奇心であり、親子で「何でだろうね」と考え、答えは親子で一緒に調べることがお勧めされました。また、記憶は感情に左右されるということで、モチベーションをあげることが記憶を高める効果的な方法ということでした。

とてもためになるお話しであり、参加された方々からは、「早速今日から実行したいです。もっと勉強したいです」等々の感想を沢山いただきました。

ご多忙中、本園のために時間を作っていただき、大変貴重な講演をいただいた村上先生に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

